

「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」事業の取組に係る検証結果について

みやぎ就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム第9回会議において、令和5年度に実施した事業について検証を行った。

- 1 会 議：令和6年12月11日（書面決議）
- 2 構成員：県内の行政、経済・労働・支援団体等の17機関
- 3 令和5年度の取組状況及び検証結果（宮城県分）

(1) 社会気運の醸成・効果的な周知広報

計画の概要	実績等
・就職氷河期世代支援に関するプラットフォーム構成機関の取組について、県ホームページ等により随時周知	・みやぎジョブカフェのホームページ及びSNSを活用し当該プラットフォーム関連記事を随時掲載 (国・県・市の相談会やセミナー等の各種情報等)
検証結果	
・当プラットフォームの行政機関の構成員である、宮城労働局、東北経済産業局、仙台市、宮城県の各担当者による打合せにおいて、イベント等の共催や相互周知・広報など、連携しながら支援の充実を図っていくことを申し合わせており、就職氷河期世代への支援を円滑に進めるため、関係機関と連携した周知広報等は大変有効である。	

(2) 不安定な就労状態にある方

計画の概要	実績等
・県の就職支援施設における相談体制の拡充 ・就職氷河期世代の採用に意欲的な企業を集めた合同企業説明会の開催	・県の就職支援施設5か所で平日夜間・休日の相談拡充 ・合同企業説明会 県内各地で33回開催 就職氷河期世代549名参加 ・県の就職支援施設における就職氷河期世代就職者数 521名 (正規221、非正規300)
検証結果	
・県の就職支援施設において平日夜間や休日の相談等を拡充して実施することにより、非正規の求職者の方が利用しやすい体制づくりを行い支援につなげるとともに、関連機関と連携し、就職説明会等企業とのマッチングの機会創出により相乗効果を図ったことで、目標を上回った。	

・「みやぎ就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」構成員等の関連機関との連携を強化し、共同開催とすることにより、企業の出展数を増やすことができた。また、在職中の方も参加しやすい土曜開催としたほか、各種広報媒体を活用した広報・周知を行ったことで参加者が増え、目標を上回った。

(3) 長期にわたり無業の状態にある方

(4) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）

計画の概要	実績等
・「長期間無業者」や「社会参加に向けた支援が必要な方」を対象に、体験前トレーニングとフォローアップを組み合わせた就業体験の実施 ・生活相談から就労相談まで幅広く対応したワンストップの相談会を開催	・職場体験参加者 12名 うち就職者3名（正規1、非正規2） 受入企業 7社 ・相談会開催回数 419回 ・相談件数 425件
検証結果	
・働くことに不安を感じている方は直前で体験をキャンセルしてしまうことも多いため、支援担当者が体験先に同行するなど、マンツーマンで寄り添い手厚くサポートし、参加者のモチベーションの維持や不安の解消を図ったことで、目標を上回った。	

4 全体検証

各関係機関が目標達成に向けて工夫、連携しながら取り組んでおり、全体として概ね順調に推移していると総括される。

5 その他意見

(労働局)

- ・就職氷河期世代の方々が抱える事業は多様であり、セーフティネットによる支援や再就職・人材育成支援をはじめ、息長く取り組んでいくべき課題であることから、プラットフォームを通じ関係機関が連携して取り組むことが重要と考える。
- ・令和6年度が「経済財政運営と改革の基本方針2023」（令和5年6月16日閣議決定）における就職氷河期世代支援の「第二ステージ」最終年度となるため、これまでの取組による成果を踏まえ、よりきめ細かな支援を一人でも多くの就職氷河期世代の方へ届けられるよう、関係機関との連携による効果的な取組の継続をお願いしたい。

(以上)